

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 「ぎふの木の家」産直住宅

グループの名称 「ぎふの木の家」産直住宅建設協議会

直近採択グループ番号 06-0663-0407

(グループ代表者)

代表者名	都竹 雅之	代表者印
代表者所属先	株式会社飛驒工務店	
代表者所在地	岐阜県下呂市萩原町羽根404	
代表者電話番号	0576-52-2320	

(グループ事務局)

事務局事業者名	岐阜県産直住宅協会	
事務局担当者名	西野 利雄	印
事務局郵便番号	500-8356	
事務局所在地	岐阜県岐阜市六条江東2丁目5番6号	
事務局電話番号	058-271-9941	
事務局FAX	058-272-3858	
事務局担当者E-mail	nishino@gifu-mokuzai.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		11	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		3	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		3	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟				
				0㎡				
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟				
				0㎡				
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	9	戸	交付申請戸数	9	戸		
	完了実績(竣工予定含む)戸数					9	戸	
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸		
	完了実績(竣工予定含む)戸数					1	戸	
高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸			
完了実績(竣工予定含む)戸数					0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸			
完了実績(竣工予定含む)戸数					2	戸		
優良建築物型								
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟			
完了実績(竣工予定含む)棟数					0	戸		
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡			
完了実績(竣工予定含む)床面積					0	㎡		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「ぎふの木の家」産直住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・愛知県・滋賀県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 「ぎふの木の家」産直住宅建設協議会	(結成年) 2012年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0663-0407	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・県産材を積極的に木造住宅に使用することにより、地域の気候・風土に根差した地域住宅とします。 積雪、地震に強い住宅。 持ちずる住宅。	・長 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・木造在来工法とする。 雪と地震に強い家づくり。 な県産材のヒノキ、スギ、マツを使用した家づくり。 じた地盤調査をする。 後30年後までの維持管理計画を策定し、点検を実施する。	・良質 ・地質に応 ・引き渡し ◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・耐震等級2以上とする。(長寿命型) 「ぎふ証明書」「ぎふ性能表示材」を主要構造材の60%以上使用する。 装材として「ぎふ証明書」「ぎふ性能表示材」を30㎡以上使用する。 ・柱および土台は、120角以上とする。 調査の結果、必要に応じて地盤改良等の補強を行う。 「いえのもりかて」等の住宅履歴に登録する。	・内 ・地盤 ・JBN ◎
④①～③の背景	・岐阜県は森林県であり、良質なヒノキ・スギの素材生産量は全国有数であり、利用期にある。 ・「東濃ひのき」「長良スギ」としてブランド化されている。 内の過半以上が、積雪量1.0mを超える。 南海地震等、近い将来大規模な地震が予想される。 長持ちする住宅は、定期点検・メンテナンスが必須条件です。	・県 ・東 ・ ◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・ゼロ・エネ住宅等の高度省エネ型住宅を積極的に導入し、当グループが地域の先導的集団となる。 利用期にある県産材の使用率を、現在のルールよりも高める努力をする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「ぎふ証明書」「ぎふ性能表示材」の柱、土台は120角以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造材の60%以上に「ぎふ証明書」「ぎふ性能表示材」を使用する。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 内装材として「ぎふ証明書」「ぎふ性能表示材」を30㎡以上使用する。 ・「平成28年度省エネ基準」以上の断熱性能とする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループ内で、数社の単位(団体会員)で岐阜県木材協同組合の協力のもと共同購入できる資材の検討をする。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 流通グループと連携して、使用する建材の性能の担保に取り組む。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 経営戦略推進委員会(既組織)で生産合理化等の検討をする。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 経営戦略推進委員会の招集。 ・各構成員から合理化に向けたアンケート調査。 ・アンケート調査に基づく生産合理化等に向けた試案協議。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅支援機構編集「木造住宅工事仕様書」(参考図書 木造住宅工事ハンドブック)を共通の実践的引書として採用し、それを施工事業者が習得することにより、グループの施工基準の整備を行う。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 着工から引渡までの検査ルールを作成し、その習得・普及活動を目指す。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループにおける単価・積算方法の標準化(標準化できるところから始める)。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構成員の知識や技術力向上のための上記の研修会・説明会等を開催する。 ・25年度から行われている「住宅省エネルギー技術・設計者講習」は、会員各社最低1人以上の受講を義務づけた。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 職業能力開発協会の技能者表彰制度を活用している。 ・技能・経験にふさわしい賃金面での処遇を、検討している。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 一人親方等の保険加入は、全建総連等の労働組合に加入を奨励している。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各団体単位で、安全パトロールを実施している。 ・年1回の健康診断を奨励している。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「ぎふの木の家」産直住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・愛知県・滋賀県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「ぎふの木の家」産直住宅建設協議会	(結成年) 2012 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0663-0407		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・JBN「いえりかて」等の住宅履歴情報サービス機関に登録し、履歴情報の共通管理を図る。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・JBN「いえりかて」等の住宅履歴情報サービス機関の活用	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・JBN「いえりかて」等の住宅履歴情報サービス機関にて確認	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・「すまいの管理手帳」を参考にして定期点検を実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・補修工事、メンテナンスの基準時期等のルールを設定する。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・JBN「いえりかて」等の住宅履歴情報サービス機関にて確認	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「住宅お手入れマニュアル」により、施工事業者・消費者に対する勉強会の実施。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・消費者に対する木工教室等の実施。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・イベント会場等での相談会の実施。	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・経営戦略推進委員会(施工事業者主体の既設組織)にて維持管理グループ内統一を図る。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定期的な訪問し、施主にタイムリーで、簡易な住まいの管理方法を伝授する。	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・倒産施工事業者の所属する団体(協同組合等)のバックアップ体制は、確立されている。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・瑕疵に対しての対応について、当協議会で手引書を作成し、勉強会を実施する。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】 ◎、○ 記入欄			
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グリーン化事業対応 実務者研修を開催する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長寿命型、ゼロ・エネ住宅等の要件に関する品質管理およびグループ共通ルールの厳守。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・実績報告書および事務局による抜き打ち現場検査にて確認。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・当協議会の役員会において、基本的な需要計画を策定する。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ゼロ・エネ住宅・長期優良住宅への取り組みのための研修会、住宅省エネ講習会受講奨励	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・県木連・プレカット協議会等各業種団体と情報交換を行い、合理化への障害を取り除く。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 108 今年度の参加目標人数 30	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 584 今年度の参加目標人数 100	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・団体会員(協同組合等)に受講人数の割り当。団体に出前講習の要請をしている。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 「ぎふの木の家」産直住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・愛知県・滋賀県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 「ぎふの木の家」産直住宅建設協議会	(結成年) 2012 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0663-0407													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】														
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・地域材は、【ぎふ証明材】【ぎふ性能表示材】東濃松(柱、梁、桁、土台、内装材)・スギ(柱、梁、桁、内装材)・マツ(梁、桁、内装材)を使用する。 ・地域材の1棟当たりの使用量は、5㎡以上とする。 ・地域材の1棟当たりの割合は60%以上とする。 ・内装材として【ぎふ証明材】【ぎふ性能表示材】を30㎡以上使用する。												
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>【補足】地域型住宅への地域材供給の流れ(岐阜証明材推進事業者による供給)</p> <p>○施工事業者の中には一部、全て手刻みによる可能性があるため、地域材供給の流れの中で、プレカット業者を介さない場合がある。</p> <p>○プレカット業者には、賃加工専門の業者もありこの場合、岐阜証明材推進制度を必要としない事業者がある。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員間の情報共有のためのHPを設け、お互いの情報管理が可能になるようなシステムの構築を図りたい。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員間の情報共有のためのHPを設け、お互いの情報管理が可能になるようなシステムの構築を図りたい。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・県森連・県木連等の団体と情報交換を行い、常に最新情報をグループ企業に発信する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30 枚												
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・多治見・土岐の《陶器・タイル》の活用を検討している。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・県内各地域に伝統的意匠があり、各団体会員の課題としている。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・省エネ、長期優良化の流れの中で、伝統的な深い庇や、軒を取り入れた和の良さを活かした軒を取り入れた和の良さを活かした住宅も受け継ぐ必要がある。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループ構成員一人一人が町並み保存等、地域の町並み形成に積極的に、係わるように働きかける。												
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室の推奨および「和の住まい」リレーションポジウムを毎年、開催している。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。													
カ. その他														
【平成30年度対応方針】														
	東日本大震災の復興に資する取組													
	平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 「ぎふの木の家」産直住宅	(地域型住宅供給対象地域) 岐阜県・愛知県・滋賀県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 「ぎふの木の家」産直住宅建設協議会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0663-0407	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

【ゼロ・エネルギー住宅】

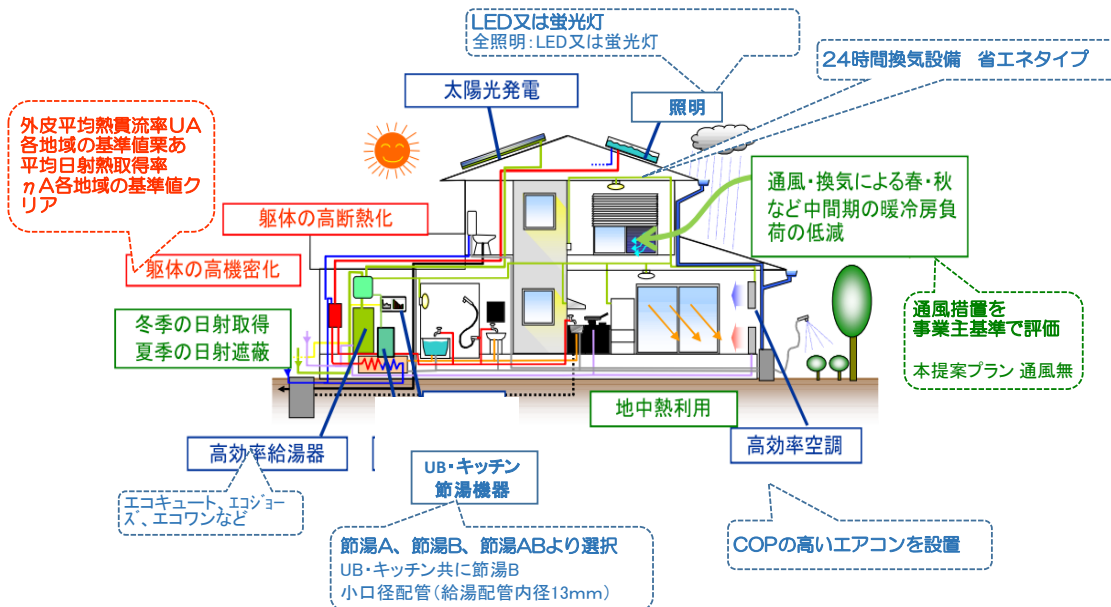
・「ぎふの木の家」産直住宅の特徴 岐阜県内は 地域区分が3~6地域にまたがり 同一の仕様では対応する事ができません。
その為 各地域により物件ごとにBELSの評価により「ゼロ・エネルギー住宅相当」との評価書を取得する。

・ぎふの木を 構造材に60%以上使用し 内装にも30㎡以上使用する。

【認定低炭素住宅】

- ・省エネ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量がΔ10%以上となること。
- ・省エネ法に基づく省エネ基準と同等以上の断熱性能を確保する。
- ・木材などの低炭素化に資する材料を利用している。
- ・便器・水栓器具等に節水型機器を採用する。

【ゼロ・エネルギー住宅】



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。